

# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 31/Aug/2020/vol.603



## 久保田農園「まめかぶ」 Baby turnip “Mamekabu” (福岡県 大分県産)

蕪といえば冬という季節感ではありますが、小さな「まめかぶ」が夏にかけても九州の久保田農園で育てられています。可愛らしいミニチュアサイズのお野菜は、カットされることなくお皿の上に収まるため、サラダ、付け合わせ、あしらいとして、畑からやってきたばかりのフレッシュなそのままの姿でお料理を彩ります。夏の「まめかぶ」はまるで冬季にお馴染みの「芽蕪」を彷彿とさせます。夏季ということで根の球体部分は幾分細長い姿ではありますが、今まで秋から春にかけてのバンケットシーズンに赤いマイクロディッシュと併せて供することで、大変好評をいただいております。紅白の組み合わせも、この「まめかぶ」によって1年を通してのご利用が可能となりました。まるでパールと赤いルビーの様な組み合わせが、お祝いの席をまた印象深く演出する紅白の慶びの色となるでしょう。鮮やかでもあり、まるで踊りだすかのような新鮮さに加え、野菜の持つ「成長」や「豊穡」という縁起の良いキーワードも相まって、お祝いの気持ちも一層盛り上がるに違いありません。(写真は「まめかぶ(白)」と「マイクロディッシュ(赤)」)